GAOT
Gunma Association of Occupational Therapists

一般社団法人
群馬県作業療法士会ニュース
「からっ風通信」　第158号　2024年10月発行

巻　頭　言

認知症支援推進グループ
グループ長　**笹谷智弘**
（ウェルスタイル前橋訪問看護ステーション）

「男はつらいよ」という映画が大好きだ。渥美清が演じる寅さん。さくら。おじちゃん。おばちゃん。そして麗しきマドンナ達。その時代の下町情緒あふれる雰囲気や人との関わり方が新鮮で温かくて見入ってしまう。毎年新年に高崎の「電気館」という映画館で上映されるものだから一日映画館に入り浸っている始末だ。

この寅さんの映画の中では、誰かしら不安なことや困ったことがあれば、町のおじちゃんやおばちゃん（もちろん寅さんも）がとてもお節介な性分なのか悩みを聞くことや問題解決のために奔走する(多くは空回りで終息する)困った人を取り残すことのないような雰囲気がそこには漂っている。落語に出てくる与太郎なんかも間抜けでしくじってばかりであるけれど、周囲の登場人物がフォローしながら話は展開する。なにかしらしくじってもその場には「なんとかなる」といった雰囲気が漂っている。

話はガラリと変わって

認知症の方や介護者が集まり、日頃の介護の悩みや思い等を話して頂く「つどい」という、「認知症の人と家族の会」が主催する会に毎月参加させて頂いている。周囲の人や身内にも介護の辛さなどを話すことが出来ず集まった参加者はつらい思いなどを吐露される。そこに具体的な提案や指導はせず、ただお話を聞かせて頂いている。思いを語った参加者は最後に「来てよかったです」と言いその場を後にされることが多い。

「つどい」に参加していて思うのは時代が進み、町の様子や家族のかたちやモノの考え方など様々な側面が変化していったことで、今までになかったような壁が生まれてきているような気がする。それは効率さなどの利便性が生まれた半面、一部の人達には助けを呼べないような状況に追いやっている面もあるのではないかとも思われる。

寅さんの映画のように「なんとかなる」といった雰囲気に少しでもなるには、町単位で「困った時はお互い様だいね」といった1人1人の認識やネットワークを作っていくことが必須なのではと思っている。

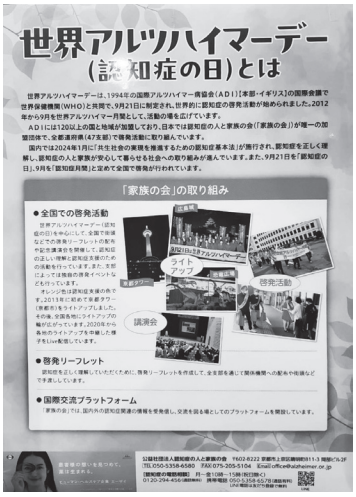
県士会として色々と活動させて頂いているが、間接的にでもそういった雰囲気に繋がっていけるように部員の皆さんと話あいながら、アイデアを作ってみたいとそう思う。

特集1　世界アルツハイマーデー記念シンポジウム

9月21日㈯認知症の人と家族の会群馬県支部が主催する2024年世界アルツハイマーデー記念シンポジウムに運営側として参加してきました。

今年のシンポジウムのテーマは「認知症を支える人のホンネ～介護家族のかっとうと専門職のジレンマ」です。

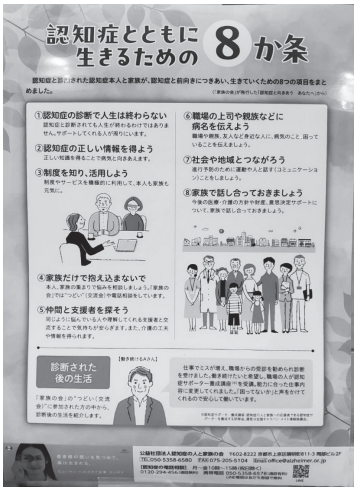
シンポジウムでは妻や夫、両親等の介護経験をもつ「介護体験者の語り」からはじまり、前橋協立病院医師の瀧口道生先生から講演を頂きました。最後に介護体験を語った数名の方と瀧口先生を含めた専門職を交えて「支える人の心が折れてしまわないように」をテーマとしてディスカッションが行われました。



家族介護者の抱える葛藤や専門職による特有のジレンマ。真剣にその方と向き合い考えるからこそ倫理的なジレンマは生まれる気がします。当事者の気持ちとご家族の気持ちの違いなどにより専門職として悩む(ジレンマ)は多々あり、家族としても家族なりの思いや葛藤があります。日々直面することに対し両者にとって完璧な対応策や打開策はないのではないかとディスカッションを聞いていて思いました。

しかし「支える人の心が折れてしまわないように」のディスカッションのなかで、奥さんを介護されていた方のお話で「近所の方が俺のこと心配で気にしてくれて、よく相談に乗ってくれた。また町内の役員の仕事も楽しくすることが出来ている。だからこそ妻と一緒になんとか生活ができたかも」とのお話がりました。

こちらのご夫婦は一方が認知症となってからも仲良く夫婦でお散歩をご近所でされており、ご近所さんはその様子や現状を周知することが出来ていたのです。



「支える人の心が折れてしまわない」ために、お話のように相談できる仲間を増やせる地域づくりがとても大切だと思いました。また困っているという情報を発信できる(発信しやすい)街づくりや雰囲気を作ることも肝心であり、そのために「認知症」に関する偏った偏見を軽減していく必要があります。継続的な普及啓発活動を実施する大事さを改めて感じました。

今年度も世界アルツハイマーデーを記念して全国約40カ所がオレンジにライトアップされました。群馬支部は群馬県庁昭和庁舎にオレンジライトがアップされました。(写真)

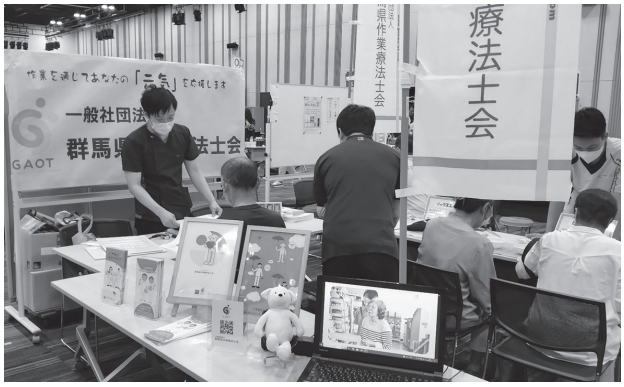
最後に、作業療法士協会では9月のアルツハイマー月間に合わせて、認知症に関する都道府県士会の活動報告が公開されました。群馬県士会としては認知症支援推進グループの活動報告を掲示しています。ぜひご覧になって下さい!

以下「QRコード」

特集2　第3回ぐんま健康フェスティバルでの広報活動

2024年7月21日に開催された第3回ぐんま健康フェスティバルに広報部として参加させて頂きました。主催であるNPO法人日本健康文化協会を始め、様々な団体の参加があり、当会ブースとしては脳トレ、自助具コーナーを出展しノベルティグッズの配布を致しました。来場者は約1700名の方が参加され、当会ブースには約100名程度が来場され、脳トレや自助具の体験をして頂きました。来場された方の中には実際に作業療法を体験されたことがある方や身内に作業療法士を目指している方などがいらっしゃいました。また以前とは違い、作業療法士について知らない方はほとんど居なく、徐々に知名度は高まってきていると感じました。今後もイベントの開催や他団体イベントへの参加を積極的に行い、少しでも「作業療法」という言葉が地域の方々に広めていけるよう邁進していきたいと思います。

県士会の皆様、広報活動にご興味のある方がいらっしゃいましたら是非広報部に入部して頂けたら幸いです。一緒に群馬県の作業療法を盛り上げていきましょう。



広報部　公益事業グループ長
中澤浩幸（医療法人社団日高会　日高病院）

群馬県作業療法士会　令和6年度　第2回理事会　議事録

日　時：2024年7月31日（水）19：00～20：30
会　場：Zoom使用でのリモート会議
参加者：新井、石森、今村、小此木、勝野、唐澤、木村、高坂、小林、関根、都丸、長谷川、山浦、山口、吉岡、李、以上　16名（50音順に表記）

Ⅰ．各部議事

1．新井会長

1）報告事項

7/8　日本作業療法士協会48委員会に参加した。

2）審議事項

①一般社団法人群馬県言語聴覚士会主催「言語聴覚の日」市民公開講座後援依頼

「失語症って何だろう？みんなで知ろう！考えよう！」というテーマで、一般社団法人群馬県言語聴覚士会主催「言語聴覚の日」市民公開講座後援依頼がきている。承諾の可否について審議したい。

日時：令和6年9月7日（土）13:00～16:00

場所：群馬パース大学 1号棟大講義室

講演「皆さんに伝えたいこと～支えあう社会のために～」

講師　東京海上日動火災保険「笑顔の授業」リーダー 池田 博之氏（失語症当事者）

ワークショップ「失語症者とのコミュニケーション疑似体験」

審議結果：承諾することで決定した。

②日本集団精神療法学会第42回学術大会後援依頼

日本集団精神療法学会より、下記学術大会の後援依頼があった。承諾の可否について審議したい。

日時：令和7年3月22日（土）～3月23日（日）

場所：Gメッセ群馬

審議結果：承諾することで決定した。

2．福祉用具委員会［担当：柴田副会長・石森理事］

1）報告事項

①福祉用具相談支援システムおよび生活行為工夫情報事業の県士会員登録状況

令和6年7月29日時点において、福祉用具相談支援システムの登録者数は49件、相談件数は2件。生活行為工夫情報事業は1件であった。引き続き事業内容について周知していく。

②福祉用具関連の研修依頼への対応について

伊勢崎佐波ケアマネジャーの会研修会より、福祉用具に関する研修依頼があった。実施は9月を予定しており、講師は美原記念病院 石森卓矢とする。

③令和6年度補装具費支給制度書面ヒアリング

日本作業療法士協会を通じて、厚生労働省 障害保健福祉部　自立支援振興室より、補装具費支給基準告示の次期改定に向けての書面ヒアリングがあった。各ブロック長を通じて県士会員より意見を募っている。

④生活行為工夫情報事業ブロック会議について

7/5日本作業療法士協会生活行為工夫情報事業東部ブロック会議に参加した。

2）審議事項：

①群馬県介護支援専門員協会との福祉用具に関する研修会共催について

群馬県介護支援専門員協会との福祉用具に関する研修会を共催していきたい。

テーマは「チームで考える福祉用具活用方法」とし、令和7年1月15日（水）18:00～19:30にオンライン研修会を予定している。講師は群馬県作業療法士会石森卓矢。参加者は、作業療法士、介護支援専門員、福祉用具専門相談員とし、参加費は1000円を予定している。上記内容で研修会開催に向けて準備をすすめてよいか伺いたい。

審議結果：上記内容で研修会開催に向けて準備をすすめていくことが承認された。

3．地域局［柴田副会長・今村理事・小此木理事・山浦理事］

1）報告事項

①北中毛ブロック支部（小此木理事）

特になし

②西毛ブロック支部（山浦理事）

・6月より高崎市の介護保険認定審査員を柴田副会長から山浦理事へ交代した。
・地域包括ケアフェスティバルに関連して、7月2日フェスティバル説明会、7月23日に代表者会議へ山浦理事が参加した。今年度、当士会は資料提供として参加する予定。
・7月26日に西毛ブロック主任代表者会議を行う予定。
・令和6年度補装具費支給制度、書面ヒアリングのメール配信を行った。

③東毛ブロック支部（今村理事）

・第26回群馬県作業療法学会の準備を進めた。
・桐生広域リハ主催会議に今村理事が参加した。

・令和6年度補装具費支給制度、書面ヒアリングのメール配信を行った。

④全体

・7月20日に行われた日本作業療法士協会主催の第1回地域事業支援会議に、地域局からは石森理事、小此木理事、山浦理事が聴講者として参加した。

2）審議事項：なし

4.教育部［担当：勝野理事・今村理事］

1）活動状況

会議：ブロック長会議　メールで随時審議を実施。
6/19にzoomにてリモート会議実施。

2）報告事項

①令和5年度 現職者共通研修・選択研修・基礎ポイント研修（実施済の報告）

・現職者共通研修「作業療法生涯教育概論」
日時：2024/7/8　　講師：松本OTR（沼田脳外）
参加者：18名

・現職者共通研修「精神障害領域」
日時：未定
講師：米原OTR（上之原）、鈴木OTR（群馬医療）、滝沢OTR（群大病院）、大嶋OTR（ふくる）

・基礎ポイント研修「3Dプリンター×ハンドスプリントの可能性」
日時：2024/8/7　講師：近藤OTR（群馬パース）、射場OTR（鳥取医大）

・基礎ポイント研修「意思伝達装置について」
日時：2024/12/14
講師：一場OTR（美原記念病院）
場所：美原記念病院（対面）

②令和6年度 新人症例発表会
日時：令和6年7月21日
会場：群馬医療福祉大学での対面開催
統括：吉田OTR（群馬整肢療護園）
発表者：36名（査読希望者0名）
事例検討者：13名
非会員：5名
学生：13名
合計：96名（教育部スタッフは除く）
上記内容で開催した。研修会運営では特に大きなトラブルはなし。
　約4年ぶりの対面開催であり、オンライン開催と比較し参加者の人数は多かった。

③その他

・2024年度名簿について
　粕川グループ長が作成し、事務局へ提出した。

・生涯教育制度用PCについて
　協会から生涯教育制度用のPC一式が貸与された。戸部SG長が管理する。

・新生涯教育制度について
　新生涯教育制度についてOT協会から送られてきた動画を部内で共有した。

2）審議事項：なし

5.地域作業療法推進部
［担当：高坂理事・山浦理事・吉岡理事］

1）報告事項

①地域包括ケア推進グループ（山口グループ長）

・令和6年6月28日付けで令和6年度群馬県地域医療介護総合確保基金事業費補助金を申請した。

・5月28日、6月28日に地域包括ケア推進グループ定例会議を実施した。

・7月20日に令和6年度第1回地域支援事業会議があり、当士会から選任者として新井会長、高坂、山口が参加した。また、聴講者として地域局より山浦理事、小此木理事、石森理事が参加した。

・ナイトセミナー開催が決定した。
「教えて！身近な専門職！病院・地域における生活支援の流れおよびMSWの役割」
日程：8月31日
形態：オンライン
講師：青木優一氏（群馬大学附属病院）

②認知症支援推進グループ（笹谷グループ長）

・6月12日に第3回目認知症G会議を開催した。（検討内容：研修企画など）

・令和6年度群馬県地域医療介護総合保険確保基金事業の研修会「認知症ケア資質向上のための研修会」を実施予定である（全2回）。

【第1回目】
日程：10月19日（土）　会場：たまごホール
講師：藤生大我氏（内田病院）、恩田初男氏（認知症の人と家族の会世話人）、市川翔氏（市川クリニック）

【第2回目】
日程：2月8日（土）　会場：たまごホール
講師：未定
認知症に係る県民向け講座の教材開発・作成事業の成果報告予定。

・5月26日、6月23日の「認知症の人と家族の会」のつどいに笹谷・野村が参加した。

・群馬県から「認知症に係る県民向け講座の教材開発・作成事業」を24年6月に受託した。既に2回の会議を行い、24年12月末の納品を目指して作業を進めている。

③精神科領域推進グループ（加藤グループ長）

・新たに1名の部員が新規加入した。
・6月11日　第2回精神領域G会議を開催した。(今年度の役割分担について)
・精神領域グループのSNS(X、Instagram)のアカウントを開設し、運用を開始した。運用にあたり、発達グループと広報の連携方法について確認をした。
・7月26日「精神障害領域作業療法士向け　相談会・雑談会」を開催した。
会場：群馬医療福祉大学
形態：対面、ZOOMのハイブリッド
参加人数：19名(対面15名、オンライン4名)
・7月27日　ソーシャルバスケットボールキャラバンに高坂が参加予定である。日本ソーシャルバスケットボールキャラバン協会側と、キャラバンの広報等の在り方について意見交換を行う。

④発発達支援推進グループ(小田グループ長)
・6月4日、日本作業療法士協会制度対策部からの「特別支援教育での実践に関する実態調査2024」アンケートに回答した。
・外部専門家派遣事業の依頼があり、2件受諾対応、1件内容確認中(7月5日現在)。
・6月5日　第1回定期勉強会を実施した。
・「群馬県特別支援学校強化事業(外部専門家派遣事業)登録者説明会」
講師：小田俊一　参加者：18名(群馬県作業療法士会会員)
・地域作業療法推進部精神科領域推進グループのInstagramの開設協力し、連携について確認した。
・6月12日　6月24日　研修企画委員会を開催し、第2回定期勉強会について検討した。
第2回定期勉強会「どうしたらよかったの？教えて先輩!!」
日程：8月28日19時から21時
形態：ハイブリッド、ZOOM
会場：群馬医療福祉大学
対象：群馬県作業療法士会会員 作業療法学科学生
・「学校を理解して支援ができる作業療法士の育成研修会ー実践編ー」を開催予定である。
日程：11月2日(土)・3日(日)
会場：群馬パース大学(予定)
形態：対面
講師：酒井康年氏、本間嗣崇氏、吉岡和哉氏(予定)

2)審議事項：なし
・群馬県からの「認知症に係る県民向け講座の教材開発・作成事業」の受託について、会計処理は事務局運営事業費でお願いしたい。それに伴い、年度事業報告も事務局の運営事業の枠組みで報告する。実働は認知症グループを中心に対応しているが、群馬県地域医療介護総合保険確保基金事業もあり、会計処理が煩雑になる。認知症グループの事業報告は「事務局運営事業における教材作成事業の支援」とする　→承認

6.養成校連絡協議会［担当：小林理事・高坂理事］
1)報告事項
①令和6年度臨床実習指導者講習会は、以下のとおり実施予定である。
日時：2024年9月28日(土)～9月29日(日)
場所：群馬大学昭和キャンパス
形式：対面開催
人数：50名
②9月1日(日)第26回群馬県作業療法学会において「学生交流会」開催予定。
学生交流及び学生会員の周知を目標とする。
③臨床実習における学生アンケート結果報告(2023年度)李理事

2)審議事項：なし

7.広報部［担当：都丸理事］
1)報告事項
①公益事業グループ(グループ長：中澤)
・7月21日に開催された第3回ぐんま健康フェスティバルに参加した。出展内容は自助具の紹介、脳トレを行った。当会ブースには約150名程度の参加があった。今後も今回のようなイベントへの参加、他団体とのコラボレーションなど広報活動を開催していく予定。

②ニュース編集グループ(グループ長：大脇)
・今号よりグループ長が変更し作業を進めている。7月号より新たな試みとしてエッセイを掲載。現在、印刷作業中で7月25日に納品予定。
・10月、1月号の巻頭言の執筆をご協力頂ける先生方を探しています。推薦等ありましたら広報部関係またはニュース編集へ連絡頂けると有難いです。

③広報企画グループ(グループ長：金子)
・公益事業Gと合同で活動実施。 各部と情報を共有し必要な外部情報の収集とまとめを行う。

2)審議事項：なし

8.福利厚生部［担当：小此木理事、勝野理事］
1)報告事項
①会員向けの不妊治療の啓蒙活動
昨年のアンケートから県学会にて不妊治療の案内を行うため、厚生省が作成したパンフレットの配布または

紹介を行っていく。学会長には連絡していく。
②県学会の表彰について
審査を太田医療技術専門学校の小林先生、学会長に依頼予定。審査はシンポジウムの時間に実施していく予定。
③新人症例発表会でのオリエンテーション
県士会の説明等をPowerPointのスライドショーにて流していく予定。また、表彰の準備を行っていく。
④リレーフォーライフ
がん対策チャリティーイベントへの参加を進めている。
リレーフォーライフの参加についてのチラシを配布するので、ご協力をお願いしたい。
今年度は作業療法士の参加者が一体感を感じながら参加できるようビブスを購入していく。また、一般の参加者向けに各参加団体でノベルティを配布していく。作業療法士会もノベルティを用意し配布していきたい。参考程度であるが、昨年は理学療法士協会ではインスタントコーヒーなどに名前を入れて配布していた。
⑤表彰規定
表彰規定を作成したので確認をお願いしたい。
2）審議事項：なし

9.全国訪問リハビリテーション学術大会in群馬 ［担当：小此木理事、都丸理事］
1）報告事項
6月1、2日と日本訪問リハビリテーション学術大会in山形で次年度の群馬大会の案内と挨拶を行なった。山形大会の参加者は500人～600人程度だった。
現在、企画会議や役員会議を随時行なっており大会プロフラムは概ね確定。
講師の先生から内諾も頂いているとの事。
ホームページも動き出した。今後、各士会や関係各所に掲載のお願いを手分けして行なっていく予定。
8月末から9月に実行委員会を開催する方向で調整中。
2）審議事項：なし

10.学術部［担当：李理事・吉岡理事］
1）報告事項
①学術研究グループ（近藤グループ長）
・4月23日に学術部研究グループの勉強会を実施した。
・県学会　査読管理業務を実施した。
・全国OT学会（高松）、群馬県作業療法学会への抄録登録に向けた月一回の勉強会を7月16日に実施した。
②学会支援グループ（秋山グループ長）
・5月23日に第26回群馬県作業療法学会の第2回実行委員会に参加した。当日運営マニュアルの作成や一般演題の登録状況について共有された。
・5月27日に学会会計業務の引き継ぎに関する打ち合わせを実施した。
③機関誌編集グループ（糸井グループ長）
・2024年度の機関誌への投稿3編あり。2編は査読終了。1編は進捗の催促をしているが連絡なく、次年度での掲載も検討。
・学会誌のデータ等、実行委員と協力して集約中。7月中旬にはゲラ刷り依頼予定。
・学会ポスター7/3に印刷依頼。事務局納品後、発送してもらう予定。
2）審議事項：なし

11.運転と作業療法特設委員会［担当：李理事］
1）報告事項
2024年6月29日（土）にzoomでぐんま自動車運転リハビリテーション研究会と合同で世話人会を開催した。
2）審議事項：なし

12.事務局［担当：長谷川事務局長・石森副事務局長］
1）協議事項
①表彰の印刷等の用意について
優秀賞等の表彰状、記念品等は、所轄する部署の予算にて、外注にて対応することを検討したい。
協議結果：今後表彰状については福利厚生部が外注で対応していく。
②40周年記念式典に関して(2026年)
40周年記念式典の開催については前々回の理事会（3月13日）で開催することで議決されている。開催にかかわる実行委員会の組織化・立ち上げを決めていきたい。
実行委員長、事務総括（副実行委員長）、会計担当、表彰関係：式典運営・来賓関係、祝賀会運営、などの中核的な実行委員を選出し、そのメンバーで予算、日程、来賓、表彰、記念紙作成等を調整していく必要がある。
協議結果：実行委員会を今後たちあげていくが、3役で実行委員の推薦を検討していく。
③表彰等推薦候補者リストの作成について
推薦規定にもよるが、役員歴等の情報を収集していく
2）審議事項
①HP研修会開催に関する審議

※HP掲載要件：掲載可能な団体は作業療法及びリハビリテーション関連の専門団体、行政、地方公共団体等に限る
・群馬県作業療法士会主催・共催・名義後援をしているのもの
・群馬県作業療法士会の会員が主催するもの
・日本作業療法士協会主催・共催・名義後援をしているもの
・日本作業療法士協会認定SIG団体
・各道府県の作業療法士会が主催するもの
・リハビリテーション関連団体が主催・共催するもの
・行政、地方公共団体が主催・共催するもの
・その他理事会で承認が得られたもの
現状上記7項目については、事務局で確認したものを掲載。
判断に迷う場合については、理事会で承認が得られたものを掲載するという規約となっている。
審議内容：一般社団法人チャイルドライフ
研修会名：第36回ベルテール教育セミナー「コミュニケーションの土台作りと将来を見据えた関わり方」
掲載の可否：掲載は否決する。

13.第26回群馬県作業療法学会［担当：石森理事、今村理事、小林理事］

1）報告事項

①ポスター発送済、就職説明会ブース参加募集開始。
②当日運営マニュアルを整備がおおむね完了。
③学会誌に関しては8月中旬には発送できるよう急ピッチで進めている。
④8/6　実行委員会開催予定
⑤7/26時点において事前申し込み　53名（他県からも申し込み有）

2）審議事項：なし

14.財務部［担当：髙橋理事、小林理事］

1）報告事項

①会費未納者への督促状を作成中。
②謝金、交通費等、手渡しご協力ありがとうございました。
③「確認書」の送付も複数名いただいている。
④9月中にできない場合、小林にご一報お願いします。

2）審議事項：なし

Ⅱ.その他

1.太田医療技術専門学校大学化について

太田医療技術専門学校が大学化を予定している。（今年度申請予定）群馬県作業療法士会として大学設立の支援について承認するか検討したい。
審議結果：大学設立を支援することについて承認した。

2.次回理事会

9月4日（水）19:00～　Zoomにて実施予定とする

群馬県作業療法士会　令和6年度　第3回理事会　議事録

日　時：2024年9月4日（水）19:00～20:40
会　場：Zoomによるオンライン開催
参加者：新井、石森、今村、小此木、勝野、木村、高坂、小林、柴田、関根、高橋、都丸、長谷川、山浦、吉岡、山口、李、（50音）
監事：唐澤

Ⅰ.各部議事

1.新井会長

1）第26回群馬県作業療法学会が中止となったが、今後、災害による対応を整備していく必要がある。中止となった学会のプログラムについても合わせて検討していきたい。
2）新井会長より、太田医療科学大学設置に係る当会としての要望並びに支援について、学校法人　太田医療科学大学 理事長宛てに送付した。

2.教育部

［担当：勝野・今村／報告者：教育部部長 今井卓也］

《報告事項》
ブロック長会議 メールで随時審議を実施。
8/22にリモート会議を実施。
1）令和5年度　現職者共通研修・選択研修・基礎ポイント研修
①現職者共通研修
現職者共通研修　「職業倫理」
日時：2025/1/22　　講師：長谷川事務局長
上記内容で研修会の日程調整。
現職者共通研修「作業療法における協業・後輩育成」
日時：2024/10/30　　講師：都丸理事
上記内容で研修会を開催予定。
現職者共通研修　「事例報告と事例研究」

日時：2024/11/13　　講師：山下OTR
上記内容で研修会を開催予定。
現職者共通研修　「実践のための作業療法研究」
日時：2024/12/11　　講師：近藤G長
上記内容で研修会を開催予定。
現職者共通研修「保健・医療・福祉における地域支援」
日時：2024/11/20　　講師：山口G長
上記内容で研修会案内を開催予定。
現職者共通研修　「作業療法の可能性」
日時：2025/1/8　　講師：山口副会長
上記内容で研修会を開始予定です。
現職者共通研修　「日本と世界の作業療法の動向」
日時：未定　　講師：新井会長
上記内容で研修会の日程調整。
②現職者共通研修
現職者選択研修　「精神障害領域」
日時：未定　　開催方法：未定
講師：米原OTR（上之原）、鈴木OTR（群馬医療）、
滝沢OTR（郡大病院）、大嶋OTR（ふくる）
上記内容で研修会の日程調整をしています。
3）基礎ポイント研修
基礎ポイント研修
「3Dプリンター×ハンドスプリントの可能性」
日時：2024/8/7　　場所：オンライン開催
参加者：70名
講師：近藤OTR（群馬パース）、射場OTR（鳥取医大）
上記内容で開催しました。
研修会運営では特に大きなトラブルはなし。
基礎ポイント研修「意思伝達装置について」
日時：2024/12/14　13：00～
場所：美原記念病院（対面開催）
講師：一場弘行（美原記念病院）
上記内容で研修会を開始予定です。
2）令和6年度 新人症例発表会
日時：令和6年7月21日
会場：群馬医療福祉大学（対面開催）
統括：吉田OTR（群馬整肢療護園）
発表者：36名（査読希望者0名）
事例検討者：13名
非県士会員：5名　学生：13名
合計：96名（教育部スタッフは除く）
上記内容で開催しました。
研修会運営では特に大きなトラブルはなし。
次年度は東毛ブロックが担当予定のため、引き継ぎ業務を開始する。
3）その他
①県士会HPの掲載削除について
各研修会開催日の翌日に粕川グループ長から事務局へHP掲載削除依頼をすることとする。
《審議事項》なし

3.広報部［担当：都丸　部長 土岐］
《報告事項》
1）公益事業グループ(グループ長:中澤)
・下半期の広報活動の方向性について部会を開催し検討予定。また他団体とのイベントを確認しコラボレーションできるかどうか検討予定。
2）ニュース編集グループ(グループ長:大脇)
7月号の発行が終了し、次回10月号の発行準備中。掲載記事等がある場合には、9月25日までにデータの送付をお願いしたい。
3）広報企画グループ(グループ長:金子)
公益事業Gと合同で活動実施。 各部と情報を共有し必要な外部情報の収集とまとめを行う。
《審議事項》なし

4.学術部［担当：李・吉岡］
《報告事項》
1）学術研究グループ（近藤グループ長）：なし
2）学会支援グループ（秋山グループ長）なし
3）機関誌編集グループ（糸井グループ長）
・機関誌、学会誌「ぐんま作業療法研究vol.27」印刷依頼した。8月下旬に納品予定。校正・編集作業スケジュールが押したのと、お盆休みで印刷業者も休みであったため発刊がギリギリになった。
・機関誌投稿原稿は2編。
《審議事項》なし
《理事会での意見》
機関誌のフォントが統一されていないことがあったため、今後業者による校閲作業の利用も含めて検討いただく。

5.運転と作業療法特設委員会［担当：李］
《報告事項》なし
《審議事項》なし

6.福祉用具委員会［担当：石森］
《報告事項》
1）福祉用具相談支援システムおよび生活行為工夫情報事業の県士会員登録状況
令和6年8月29日時点において、福祉用具相談支援システムの登録者数は49件、相談件数は2件。生活行為工夫情報事業は1件であった。引き続き事業内容について周知していく。

2）福祉用具関連の研修依頼への対応について
　伊勢崎佐波ケアマネジャーの会研修会より、福祉用具に関する研修依頼があった。実施は9月11日を予定しており、講師は美原記念病院 石森卓矢とする。
3）令和6年度補装具費支給制度書面ヒアリング
　日本作業療法士協会を通じて、厚生労働省 障害保健福祉部 自立支援振興室より、補装具費支給基準告示の次期改定に向けての書面ヒアリングがあった。各ブロック長を通じて県士会員より意見を募ったが、意見があがらなかったため、群馬県作業療法士会からヒアリングの回答は提出しなかった。
《審議事項》なし

7. 第26回群馬県作業療法学会［報告者：今村雄二］
《報告事項》
　群馬県作業療法学会は直前での判断で、中止となった。事前参加登録者は288名であった。支出等に関しては、広告費収入と相殺程度で抑えることが可能な見込みである。
《審議事項》
1）一般演題に関して、誌上発表として認める形を学会実行委員としては、認めたいと思うがよろしいか？
審議結果：一般演題を誌上発表として取り扱うこととする。
日本作業療法士協会ポイントの取り扱いについては、OT協会に問い合わせを行う。
OT協会への問い合わせ結果がわかり次第、一般演題発表者へ個別に連絡していく。

8. 地域局［担当：柴田・今村・小此木・山浦］
《報告事項》
1）北中毛ブロック支部
　9月19日に主任者会議をzoomで開催予定。
　市町村配置事業などを地域作業療法推進部にお話しいただく予定。
　また、学会支援の協力をお願いしていく予定。
2）東毛ブロック支部
　学会運営に関して協力して進めている→8月30日に学会を中止する判断をした。
3）西毛ブロック支部
①西毛ブロック支部主催の研修を企画している。
②地域包括ケアフェスティバルで配布する広報媒体に関して、広報部と相談してく。
4）全体
　9月2日に地域OT推進部との合同会議を行う予定。
《審議事項》なし

9. 福利厚生部［担当：小此木，部長 設楽］
《報告事項》
1）リレーフォーライフ
　イベントにて一般参加者へノベルティを配布していく。カイロ、ウエットティッシュ、お茶とともに作業療法士についてのパンフレットを配布していきます。また、ビブスも参加者の一体感を出していくことや他団体へのアピール目的に作製を予定している。
2）会員向けの不妊治療の啓発活動
　昨年度のアンケートにあった不妊治療について、厚労省で配布していたパンフレットを配布予定。部数が数部しかないため、コピーしたものの配布や資料のダウンロード方法の掲示をしていく。
3）県学会でのライフイベントに関する研修
　県学会にて群馬医療福祉大学の柳井先生を講師として、ライフイベントに関する研修としてワークショップを予定していく。福利厚生部でワークショップの運営を協力していく。
4）県学会の優秀演題賞の審査について
　審査を新井会長、牛込先生、小林先生にお願いしていたが、中止となったため、今後の対応について検討していく。
【審議事項】なし

10. 訪問リハビリテーション学術大会in群馬
［担当：小此木］
《報告事項》
　9月中旬に実行委員会開催予定。
　プログラムは決まってきたが、当初の予定では開会式等で議員の挨拶を予定していたが、訪問リハビリテーション協会の意向として学術団体であることから政治家の挨拶はなしと理事会で決まった。群馬県の都合で大会議室が展示ホールへ変更になったが展示ホールの予算が莫大になっている。現在、予算削減に向けて調整している。
《審議事項》
1）訪問リハ学会のバナーを訪問リハ学会終了まで、県士会ホームページへ掲載しても良いか。
審議結果：バナーのHP掲載を事務局で行っていく。
2）学会の後援について、学会の運営は各士会で構成されるPOS連絡協議会が主体となっているが、POS連絡協議会が別団体と考えられるため、改めて後援依頼をしたいが良いか。
審議結果：群馬県作業療法士会が訪問リハ学術大会in群馬の後援を行っていく。

11. 地域作業療法推進部［担当：高坂、吉岡］
《報告事項》
1）地域包括ケア推進グループ（山口グループ長）

①7月20日に第1回地域支援事業会議がオンライン方式にて開催され当士会から新井会長、高坂理事、山口グループ長が参加した。また聴講者として地域局理事の方々にも参加していただき、配置事業に関する意見交換を行った。

②7月25日、8月23日に地域包括ケア推進グループ定例会議を開催した。

③8月20日に関東・信越Bブロック会議が開催され、高坂理事、山口グループ長が参加した。

④8月31日　ナイトセミナー「教えて!身近な専門職!病院・地域における生活支援の流れおよびMSWの役割」をオンライン形式にて開催した。41名の方にご参加いただいた。次回のナイトセミナーは、12月13日に開催する方向で調整している。

2) 認知症支援推進グループ（笹谷グループ長）

①第2回「認知症ケア資質向上のための研修会」を以下の通り実施予定である。

日付：令和7年2月8日（土）

会場：たまごホール

講師：石井 利幸 氏(ひもろぎの園)・今井 喜子 氏(内田病院)・竹原 敦 氏(群馬パース大学)

※講義の途中に「認知症ステップアップ講座　コンテンツ」紹介を実施予定である。

②8月27日　施設宛てにチラシの封入作業を「喫茶店シープ」で実施した。その後、研修会の広報先について検討をおこなった。

③7月28日、8月25日　「認知症の人と家族の会」のつどいに参加した。

④9月21日　家族の会主催の記念シンポジウムイベントの運営協力に参加予定である。

3)　精神科領域推進グループ（米原グループ長）

令和7年1月25日 研修会「精神科作業療法におけるOBP実践の工夫」(仮)を予定している。

講師：松岡太一氏(福井記念病院)

開催方法：ZOOM

4) 発達支援推進グループ（小田グループ長）

①外部専門家派遣事業依頼あり、2件受諾対応。

②7月28日　5歳児健診への作業療法士参画に関する情報交換会へ小田が参加した。

③8月21日、8月23日　研修会企画委員会を開催した。

④8月28日　第2回勉強会について打ち合わせを行った。

⑤第3回勉強会外部講師について検討している。竹澤小児科クリニック（前橋）の竹澤医師に講演を依頼する予定である。

⑥8月28日　第2回勉強会「どうしたらよかったの？教えて先輩」を実施した。

講師：吉澤陽菜　矢吹葉澄　中嶋鮎　吉岡和哉　六本木温子　小田俊一

参加者：13名

《審議事項》

1) 地域包括ケア推進グループ

日本作業療法士協会の重点項目である市町村担当者配置事業に関して、今後、各会員施設向けにアンケート調査を実施する予定である。地域局経由で連絡をお願いし、アンケートの回答には、施設主任者にご協力をいただきたい。

審議結果：地域局経由で施設主任者宛てにアンケートを実施していく。

2)　作業療法士の人材育成の一環として前橋市の地域ケア個別会議を見学させていただけるとのこと。主対象は、職場が前橋市にある者とし、見学者の募集案内は、県士会のメーリングリストを用いて市内の施設へ連絡する形で良いか。

審議結果：主対象は、職場が前橋市にある者とし、見学者の募集案内は、県士会のメーリングリストを用いて市内の施設へ連絡する形ですすめていく。

12. 事務局［担当：長谷川・石森］

《報告事項》

1)各部局　部員名簿について

来年度共有ボックスなどで運用を検討していく。

2)委嘱状の発行・名簿について

委嘱状については9月中に発送を予定している。名簿については10月発送を予定している。

3)上毛新聞SDGs記事掲載の通知文書について

通常、147万円のところ33万円で団体におけるSDGsの取り組みにについて上毛新聞に記事掲載（カラー）が可能とのこと。

《審議事項》なし

その他連絡事項:次回理事会予定

令和6年11月27日（水）19:00～

事務局の小窓

第2話　『サンドウィッチ』

前回の県士会ニュースが発行されてから、少しの間、不安な毎日を過ごしました。突如現れた文面に、皆さんが戸惑うだろうことは想像に難くないし、「ふざけてんのか！」と怒る方もいるかもしれないと思っていたからです。様々に心配される方がおられることも存じておりますし、広報部の皆様にもご迷惑をおかけしてしまうことに申し訳ない気持ちもあります。ただ、ごく一部の変な人たちからはお褒めの言葉をいただきました。ありがたいことです。もう暫く、寛大なお心でお付き合いいただけますと幸いです。

本題

2009年10月草津温泉で日本作業療法士協会主催による全国研修会が行われました。実行委員長は新井会長が務められ、理事、各部部員の方々など県士会の中心メンバーが総力を挙げて運営した、今まで類を見ない大がかりな研修会でした。また、講師陣も個性あふれる方ばかりで鎌倉矩子先生（故）の講演があったことも大きな反響を呼びました。その当時、鎌倉先生は大変影響力がありながらも、表舞台に出ることは少なく、その先生に承諾を頂いたことは特筆すべき快挙といえました。ひとえに「なんとしてでも来てもらいたい」という会長の執念によるところが大きいと思われました。

そして会場は「草津温泉」。この会場選定については、懸念する声も少なくなかったようです。理由は2つ。一つにはとにかく遠くて、交通アクセスが死んでいる。二つにはシングルルームが少ない中で宿泊の調整が難しい。一方、草津温泉は日本屈指の湯治場であり名湯です。つまり、観光には良いけれど、研修会場には向いていないと多くの方が心配したわけです。

企画運営をしていて最も嫌なことは「人が来ないこと」です。どんなに高名な講師を招聘できても、魅力的な企画ができても、人が来なければ、嫌なのです。

人を呼ぶために、何としても不安を払拭する必要がありました。バスの調達から宿泊施設の確保、旅行代理店との提携などやるべきことは山積みでした。実行委員の方々が身を粉にして、魂を削りに削って、粉どころか煙になるまで働いていたと聞き及んでおります。果たしてその結果、事前申し込みは350名を超え、ひとまず人を呼ぶという難問を見事乗り越えたのでした。ふぅ…（汗）。

え？私？

いや、何もしてねぇけど。何？うるせぇな。

私の場合、日頃お世話になっていた先輩から頼まれて、途中から会計をすることになりました。私が合流したのは、皆さんの魂がちょうど煙になられた頃と記憶しております。

私と軍曹のような先輩との経緯はいろいろとあります。ですがそれはまた別の機会に。

研修会の前日、会長と先輩、私の3人は前日入りすることになりました。小さな居酒屋で、準備が整ってよかったと、受講者が集まってよかったと、ささやかな乾杯をしたのでした。成功への期待と責任、少なからずあった草津で行うことへの批判、そうしたことが会長に重く負担としてのしかかっていたとしても、それは当然のことと思われます。どんなタフな人であれ、過度なプレッシャーはよい仕事を生み出さない。会長も例外ではない。ただ、未熟な私はそのことに十分思い至っていなかったのです。

翌朝、会長と私はコンビニで朝食を買い、会場に向かいました。到着してしばらくすると、なにやら会長の様子がおかしいのです。

会長「俺…靴忘れた。」

私「ん？どういうことで…ヴっ！。」

パリッとした仕立ての良いスーツに身を包んだ会長でしたが、目線を下に向けていくと、何とも言えない感じのスニーカーをお履きあそばせているではありませんか。私はなすすべもなく、呆然と立ち尽くしたのでした。

私は、もう致し方ないと思いました。靴を忘れたとて、来場者が減るわけでもないので、傷は浅い。会長が若干恥ずかしい思いをして、たぶん写真に残ってしまうということを除けば、それほど大きな問題ではないと、むしろ、あの何とも言えないスニーカーで壇上に上がり挨拶をする姿は、いつしか伝説になりえるかもしれないとポジティブに捉えることにして、私はその場をそっと離れ、会計の仕事をすることにしたのです。

そうした中、会長は次の一手を打っていたのです。今回の研修会には旅行代理店の営業マンが帯同しておりました。その方に、「靴を用意してほしい」と伝えたらしいのです。その後の詳細は謎に包まれていますが、結果として靴が用意されました。いったい、どうやって！？。一流営業マンの真髄を見た気がしました。どんな無理難題も必ず結果を残すというプロ魂に畏怖の念を抱かずにはいられませんでした。そして、少し気の毒だとも思いました。

こうして小さなハプニングはあったものの、会長も壇上に立派な姿で挨拶と座長を務めることができ、各種講義も予定通り行われ、運営スタッフの粘り強く正確な仕事によって無事終えることができたのでした。めでたしめでたし…。

え？会計？

会計はミスが目立ち、先輩は「ぜんぜんあってないねぇ。長谷川くん」と笑って言いました。ただ、先輩の目の奥に仄暗い煌めきを見たとき、私は恐怖のあまり声を失ったのでした。危うく魂抜かれるところだった。あぶねぇ。

直接は無理すぎるので、今この場を借りてお詫び申し上げます。

県士会の総力戦で臨んだ研修会は、初めて会長と出会い、県士会の実務にかかわり、二度と会計の仕事はやめておこうと誓った記憶に残るイベントでした。

後日、会長から私宛に1通のメールが届きました。とても丁寧なお礼のメッセージでした。

「追記。俺、長谷川君の車にハンガー忘れてっちゃったでしょ。あとコンビニでサンドウィッチ買ったお金返してないね注）。申し訳ない」

大変、趣があり削除せずずっと残してあります。

あれから15年、当時のメンバーの幾人かは入れ替わり、新たな理事も加わり、県士会は今も歩みを続けています。

次回、第3話「タフガイ」をお届けします。

注）サンドウィッチについては時効

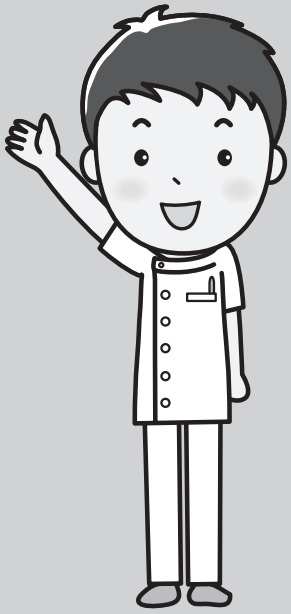
文責　事務局長　長谷川明洋

追伸

鎌倉矩子先生が2023年6月16日永眠された。私は先生の記した言葉がとても好きだった。緻密で繊細な臨床家としての言葉は、時に苛烈さを伴い、時に慈しみを持って私に響いた。先生がいくつもの本を残したおかげで、こうした今も、書物を通じてその言に触れることができる。それだけでも私はきっと幸運なのだと思う。

心よりご冥福をお祈りいたします。合掌。

投稿大募集!!



ニュースでは、日頃感じている些細な疑問や
日常業務で工夫している点、こんな研修会に
参加した･･･などなど、皆様からの投稿を
募集しております。
どんなことでも構いませんので、
お気軽にお寄せ下さい。
お待ちしております!!

ニュース原稿の送付先

daxiezongya@gmail.com

県士会ホームページアドレス

http://www.gunma-ot.org/

編集後記

今号の巻頭言は認知症グループG長の笹谷先生に執筆して頂きました。ご多忙の所ありがとうございました。

いつも掲載している施設紹介については諸事情により掲載ができず、申し訳ありません。

今回から記事のボリュームを増やし内容の充実さを図ってみました。まだまだ、足りない部分はありますが、今後もよりよい記事が届けられるよう努めますので引き続きよろしくお願いいたします。

O

群馬県作業療法士会ニュース

発 行 者 ‖ 新井　健五
発 行 所 ‖ 群馬県作業療法士会事務局　〒371-0024 前橋市紅雲町1丁目7番12号　TEL・FAX 027-224-4649
編集代表 ‖ 大脇 宗雅　編集委員 ‖ 関　仁紀、下田　幸、辻 千鶴子、白倉 研吾　印刷 ‖ 星野印刷株式会社